

「公民館」のさらなる発展に向けた取組み

2021年3月2日（火）
明治安田生命保険相互会社

はじめに - 背景と目的 -

このたびは、ご報告の機会をいただき、誠にありがとうございます。

明治安田生命は、お客さま一人ひとりに寄り添った対面のアフターフォローと、お客さまが暮らす地域に根差した活動で、すべての**地域に密着したもっとも身近な生命保険会社**をめざしています。

全国のお客さまに安心をお届けする明治安田生命の事業において、地域のみなさまからの支えは不可欠であり、地域コミュニティとの密接な関係や絆をつくるため、積極的に地域社会に貢献していかなければならないと考えています。

今回、後述する**全国の「公民館」のさらなる発展に向けたさまざまな取り組み**を通じて、地域のみなさまとの交流を深めるとともに地域社会の振興支援を図っていきたいと考えています。

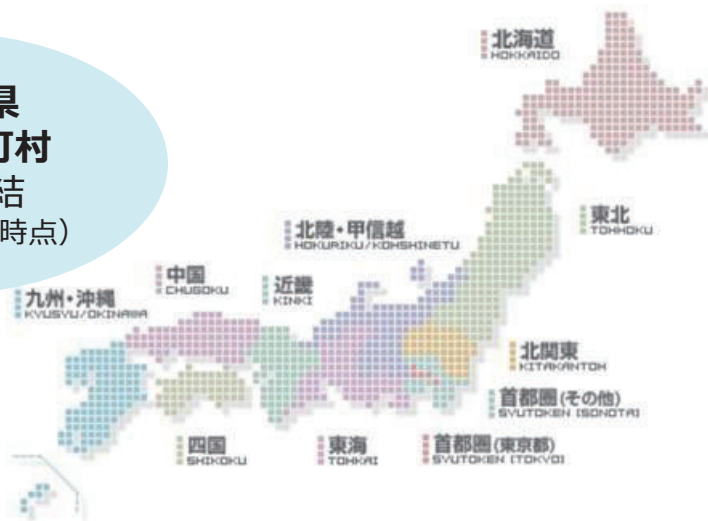


明治安田生命による地域社会貢献への取り組み① –地方自治体・道の駅等との協働–

◇ 明治安田生命では、生命保険本来の相互扶助の精神に基づいて、地域が抱える課題・ニーズに応えるさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます

地方自治体との連携協定締結

33都府県
259市区町村
と協定締結
(2021年2月末時点)



《主な連携事項》

高齢者・健康づくり支援	<ul style="list-style-type: none"> ■「地域を見守る」活動の実施 ■「介護、健康づくり、終活」等のライフプランに関するセミナーの開催 ■がん検診や生活習慣病予防に向けた取り組みのPR
結婚・出産・子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ■Jリーグ(サッカー教室)等のスポーツを通じた子ども健全育成の支援 ■結婚・出産・子育てに関する取り組みの支援 ■女性がいざいぎと働き続けることができる環境づくりの支援
産業・観光振興支援	<ul style="list-style-type: none"> ■地方自治体の取り組み、イベントなどのPR ■「外国人観光客のコミュニケーション支援ボード」の提供 ■異業種交流会、中小企業の支援に向けたビジネスマッチングの開催
地域経済の自立支援	<ul style="list-style-type: none"> ■農業を含む成長分野への投融資の実施 ■地域特産品のPR

全国各地の「道の駅」との協働



『道の駅』健活プロジェクト



明治安田生命

道の駅における各種テーマに沿った活動を
民間企業との連携により支援・推進



・道の駅で働く方々や、駅を訪れる地域住民の方々を対象に、全国道の駅連絡会と明治安田生命が連携し、健康増進に向けたさまざまな取り組みを展開

地域のお祭りへの助成、活性化支援



・地域の祭事への助成やボランティア支援を通じて地域の活性化に取り組む

明治安田生命による地域社会貢献への取り組み② -Jリーグを通じた地域活性化 他-

◇ 明治安田生命では、生命保険本来の相互扶助の精神に基づいて、地域が抱える課題・ニーズに応えるさまざまな社会貢献活動に取り組んでいます

「明治安田生命Jリーグ」の応援



明治安田生命 Jリーグタイトルパートナー契約調印式



小学生向けサッカー教室の様子(高松支社)

- 平成27年1月より「Jリーグタイトルパートナー契約」を締結
- 「全員がサポーター」を合言葉に各地域のみなさまとJリーグ・Jクラブ等を応援。地元のJクラブ等と協力し、「小学生向けサッカー教室」等の地域に密着した活動を実施

クオリティオブライフ文化財団による伝統文化への支援



- 地域の伝統文化の継承、特に後継者の育成を支援する「地域の伝統文化保存維持費用助成制度」を運営

「地域を見守る」社会貢献活動



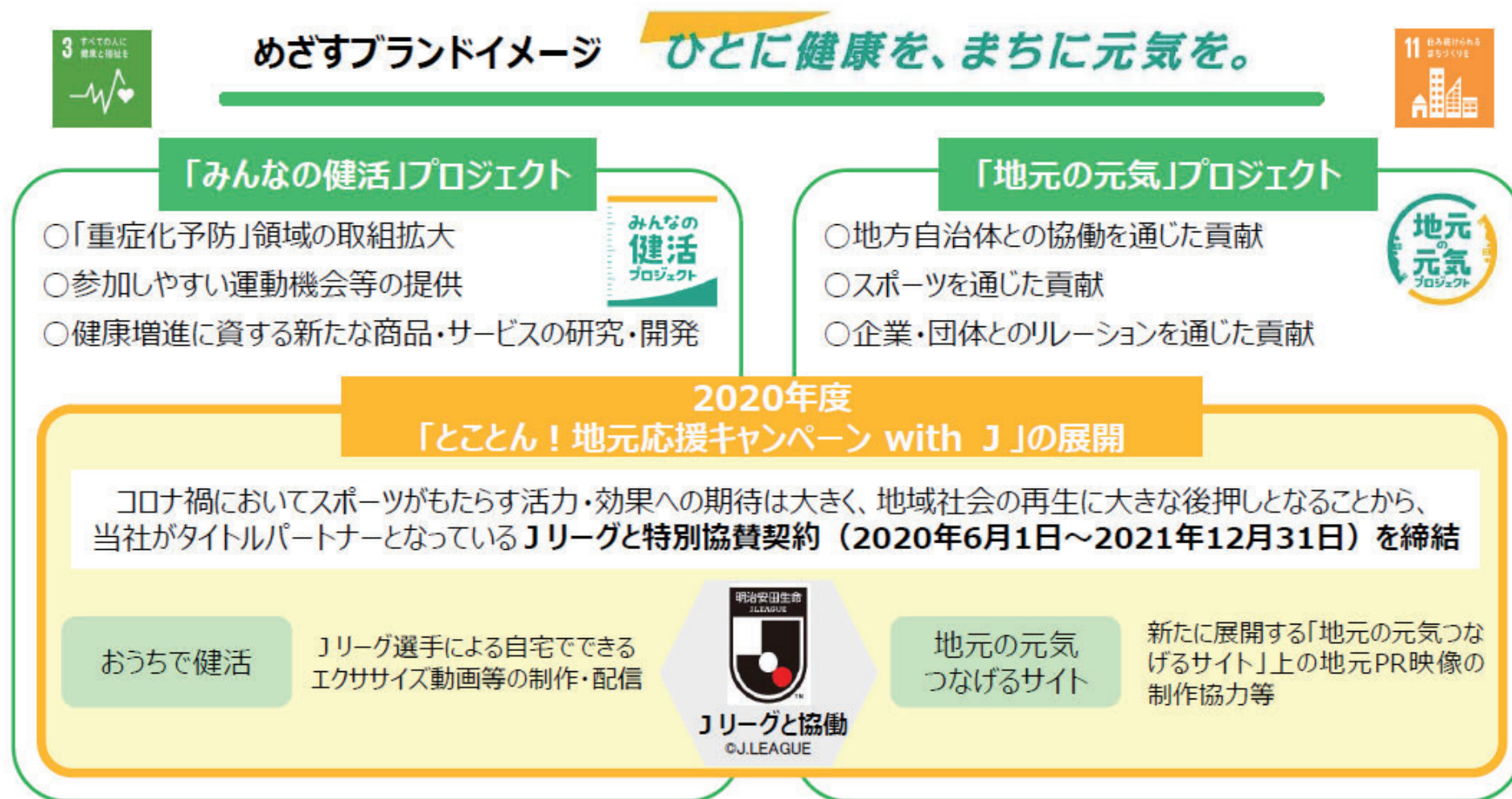
- 子供の命・安全を守る地域防犯の取り組み



- 新入学児童を対象に交通安全キャンペーンの一環として「黄色いワッペン」の贈呈事業に参画

明治安田生命による地域社会貢献への取組み③ – 2大プロジェクトの展開 –

- ◇ 長年取り組んできたこれらの活動実績をもとに、「みんなの健活」プロジェクト、「地元の元気」プロジェクトを全社的な取組みとして推進しています



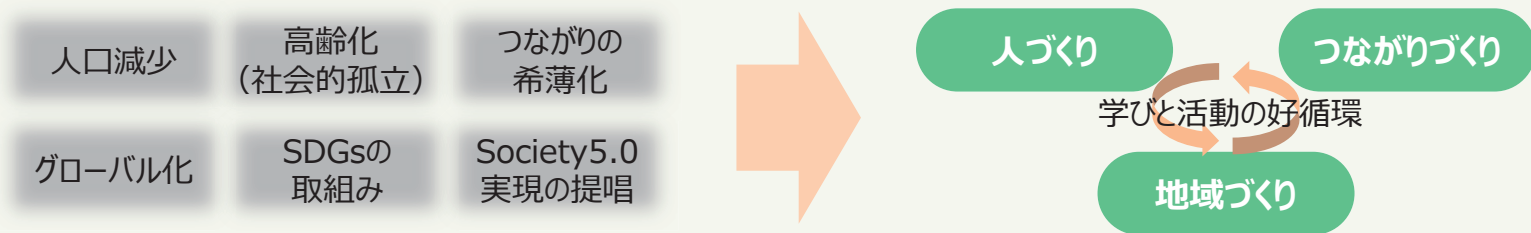
「公民館」のさらなる発展に向けた検討

◇ 公民館に求められる「地域コミュニティの持続的な発展を推進する役割」に、明治安田生命がもつ全国ネットワーク・ノウハウ等を活かし、「地域が元気になる」、「公民館ならではの」定期講座を提供することで貢献できないか検討

公民館を
取り巻く環境

■ 地域における社会教育のあり方

・多様化する課題と社会変化への対応をふまえ、「社会教育」を基盤とした「人づくり」、「つながりづくり」、「地域づくり」をめざす方向



■ 社会教育の方向性

①住民の主体的な参加のための
きっかけづくり

②ネットワーク型行政の実質化
(大学、企業等との連携・協働)

③地域の学びと活動を活性化する
人材の活躍

「社会教育施設」に求める役割

「地域の学習拠点としての役割」 + 「地域コミュニティの持続的な発展を推進するセンター的役割」

(参考・出典) 「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について (H30.12)」 文部科学省 中央教育審議会

明治安田生命が貢献できること

明治安田が
貢献できること

全国各地の公民館に、「地域が元気になる」、「公民館ならではの」定期講座を提供

地域に根ざした
さまざまな取組み

全国に広がる
ネットワーク

健康関連の
ノウハウ・コンテンツ

「MY定期講座〈仮称〉」のコンセプト（案）

◇ 公民館を取り巻く環境や地域住民（主に高齢者）のニーズ等をふまえ、「MY定期講座〈仮称〉」のコンセプト概要（案）を策定

コンセプト概要

- 地域社会（自治体等）の課題解決に資する講座内容を設定 ⇒「地域づくり」
- 地域住民が主体的に「楽しく学び」、体験活動を通じて「自分ごと化」できるコンテンツを組み込み ⇒「人づくり」
- 地域住民がお互いの関係を深め、地域でのコミュニティ活動を継続支援する仕組みを導入 ⇒「つながりづくり」

以下①～④を基本フレームとした
「地域が元気になる」、「公民館ならではの」『MY定期講座〈仮称〉』を提供

① 座学セミナー

自治体の周知・予防事項をフォローアップする趣旨で、地域住民が主体的に学習できるわかりやすいコンテンツを提供

健康増進 介護認知症 子育て



② 体験型コンテンツ

座学だけでなく、地域住民が参加してみたい体験型コンテンツを提供し、継続的な活動を支援

トレーニング型（ポジティブ）
測定・チェック型（ネガティブ）



③ 地域資源の活用

地域住民の健康・暮らしに関わる不安の解消やQOLの向上を目的に、各地域特性にあわせた地域資源の紹介・提供を組み込み

行政・民間サービス
地元大学・企業との連携



④ コミュニティ活動支援

参加者のつながり・関係性構築や、講座後の継続的な活動支援を目的に、懇親会の設定や各種サークル活動の支援メニューを組み込み



運営のポイント

- ✓ 1講座3回程度の定期講座
- ✓ 各種コンテンツ・講師手配の取りまとめ・調整は、明治安田生命が実施
- ✓ 公民館が講座設定にかかる費用は無料

※ 各公民館の現状や要望に合わせて開発

※ 「MY定期講座〈仮称〉」の「MY」は、「自分にあった」、「自分のためになる」という思いを込め設定
(各講座のテーマ名は、内容に応じて別途設定)

「MY定期講座〈仮称〉」の具体的なコンテンツ（例）

◇ 定期講座のコンセプトに沿った各種セミナー・コンテンツの組み込みを想定

1 座学セミナー

ジャンル	セミナー	時間
脳 の 健康	今すぐできる心と脳のメンテナンス	30～60分
	認知症のハナシ ～未来の自分のためにできること～	30～60分
	快眠セミナー ～知ることが1日のスタート～	30～60分
運動	あなたの生活が運動になる	45～60分
	立ち上がれ！座りすぎ改善計画	45～60分
	運動習慣が身につくエクササイズセミナー	45～60分
食	“食”でかえるあなたのカラダ “基本編”	45～60分
	“食”でかえるあなたのカラダ “カロリーコントロール編”	60分
	“食”でかえるあなたのカラダ “塩分が気になる編”	60分
教育関連	ふたつの「そうぞく」～“相続”と“争族”のはなし～	60分

⋮

2 体験型コンテンツ

対象おすすめ	コンテンツ
高齢者向け	転倒リスクチェック
	認知機能測定
	脚筋力測定
	口腔いきいき健康度測定
働く世代向け	カラダの衰えチェック
	かんたん大人の体力測定
	自律神経測定
子供向け	管理栄養士による食事相談
	こどもロコモチェック
	食事カードゲーム

⋮

その他、大手企業とタイアップした魅力的なコンテンツを準備しております



【高知県南国市】稲生公民館での取組事例

講座名	年齢に負けない！令和時代のセカンドライフ ～認知症編～		
ターゲット層	シニア層（70代～80代）	募集人数	30名程度

	① 座学セミナー	② 体験型コンテンツ	③ 地域資源の活用	④ コミュニティ活動支援
1日目 認知症の理解 (自分ごと化) 90分	■ 認知症ケアセミナー > 老化と予防（認知症とは） > 簡単な認知機能チェック（タブレット等を使用）  講師：明治安田健康開発財団 時間：約20分（座学）+約40分（体験型測定会）	■ 自治体からのお知らせ > 高知大学の事業紹介 > 保健所からのお知らせ 講師：南国市・高知大学 時間：約30分		
2日目 認知症の予防 (回想法) 90分	■ 思い出を書こう、語ろう > 思い出し方講座 > 思い出ノートを活用した自分史づくり（脳の活性化）  講師：公財）認知症予防財団 時間：約20分（座学）+約40分（ワークショップ）		■ 地元の思い出 懇親会 > 昔を思い出しながら・・・ 講師：高知大学 時間：約30分	
3日目 今、しておきたいこと 90分+a	■ MYライフ&エンディングセミナー > 事例ドラマで、ご自身と家族へのそなえを一緒に考えます  講師：明治安田生命 時間：約90分	■ 各種サロン活動のご紹介 > 地域における継続的な活動支援 講師：公民館 時間：約●●分		

【高知県南国市】稲生公民館の運営体制

◇ 稲生公民館の運営体制は、以下のとおり

稲生公民館（運営体制）

設置管理者	<p>➤ 南国市（生涯学習課）</p>
運営体制	<p>➤ 稲生公民館の職員（2名）</p> <p>公民館長 橋詰 昌明 地域支援員 中村 利香</p> <p>➤ 「チーム稲生」の役員（主なメンバーは以下のとおり）</p> <p>顧問 前田 学浩 （南国市議会議員） 会長 山崎 昇 （稲生地区 社会福祉協議会） 副会長 浜田 美都子 （サロン部会 女性コーラス） メンバー 浜田 伸夫 （前 公民館長） メンバー 打井 民衛 （サロン部会 高齢者体操） メンバー 浜田 節 （サロン部会 民生委員）</p> <p>※上記以外に稲生地区住民および、本会の目的に賛同する者で構成</p>



地域（稲生地区）の状況

集落人口：1,500人
世帯数：753世帯
高齢化率：41%

＜チーム稲生の主な活動＞

- ✓ 地域住民の健康づくりとして、以下を実施
 - ・高齢者サロン活動
 - ・健康づくり講座、ラジオ体操活動
 - ・特定健診にあわせた「健幸感謝祭」の開催
- ✓ 他にも公民館を利用して、びわ桃祭り、防災学習、造形教室、高知大学とのオンライン会議等を実施

地域の様々な団体が連携・支援

自治体

- ・高知県（地域企画課）
- ・南国市（企画課、市民課）

高知大学

- ・地域協働学部
- ・農学部

その他団体

- ・社会福祉協議会
- ・自主防災組織
- ・老人クラブ 等

MY 定期講座案内チラシ（新聞挟み込み）

【稲生地区】

稲生地区の皆さま



年齢に負けない！
令和時代の
セカンドライフ

認知症編

参加費 **無料**

2020年11月13日 金 9:30 ▶▶ 10:30

場所 稲生ふれあい館

講師 明治安田健康開発財団 嶋 智史 氏

この度、明治安田生命保険相互会社では、地域のみなさまの健康増進を図ることを目的に、「チーム稲生」のご協力のもと、定期講座を開催することになりました。

<講師プロフィール>
◆アメリカスポーツ医学会公認 エクササイズフィジオロジスト
◆健康運動指導士
健康づくりの学術的機関や現場での経験を活かし、「健康づくり」の先駆けとなる活動を展開中

<講座内容>

- 1 脳の活性化をテーマに、タッチパネルを使った認知機能チェックや“脳”力アップのための取組みをご紹介します！
- 2 簡単な体操も予定しておりますので、動きやすい服装でお越しください

ご参加の方には、「お土産」もご準備しております。
お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

【立石地区】

立石地区の皆さま



年齢に負けない！
令和時代の
セカンドライフ

認知症編

参加費 **無料**

2020年11月13日 金 13:30 ▶▶ 14:30

場所 立石公民館

講師 明治安田健康開発財団 嶋 智史 氏

この度、明治安田生命保険相互会社では、地域のみなさまの健康増進を図ることを目的に、「チーム稲生」のご協力のもと、定期講座を開催することになりました。

<講師プロフィール>
◆アメリカスポーツ医学会公認 エクササイズフィジオロジスト
◆健康運動指導士
健康づくりの学術的機関や現場での経験を活かし、「健康づくり」の先駆けとなる活動を展開中

<講座内容>

- 1 脳の活性化をテーマに、タッチパネルを使った認知機能チェックや“脳”力アップのための取組みをご紹介します！
- 2 簡単な体操も予定しておりますので、動きやすい服装でお越しください

ご参加の方には、「お土産」もご準備しております。
お誘いあわせのうえ、ご参加ください。

稲生公民館開催（令和2年11月13日）～MY定期講座①



《受付時の風景（コロナ感染対策）》



《血管年齢測定会》



《開会前挨拶～稲生地区福祉協議会 山崎会長》



《セミナー開始～講師：明治安田健康開発財団 埴氏》

稲生公民館開催（令和2年11月13日）～MY定期講座②



《座学風景》



《デュアルタスク実践風景》



《健活タオルを使用したストレッチ指導》



《認知症チェック風景～高知大学サポート学生と》

【参考】立石公民館開催（令和2年11月13日）～MY定期講座①



《座学風景》



《座学風景》



《デュアルタスク実践風景》



《健活タオルを使用したストレッチ指導》

【高知県南国市】MY定期講座の開催結果（11/13開催）

◇ MY定期講座の開催結果（参加者状況、実施後ヒアリング）は、以下のとおり

稲生公民館 参加者51名

地域住民	37名
高知大学	教授・講師2名、学生7名
南国市役所	市職員4名、保健所職員1名

【参考】立石公民館 参加者27名

地域住民	19名
高知大学	教授・講師1名、学生7名

稲生公民館 実施後ヒアリング（中村支援員）

運営にあたっての負担は小さく、定期講座の内容にも満足

- 通常のサロン活動でも他組織と連携をすることがあるが、今回特に負担になったことはなかった
- 開催が決まってからサロン開催のたびに紹介を行っていたが、「認知症」をテーマが高齢者のニーズに合致した模様であり、開催前の参加意欲が高かった
- 講座が始まると、受講者が熱心にメモをとっていた姿が印象的である。高齢者の場合、つまらない講義では、あからさまに「飽きた」素振りをするので、今回の内容は興味深かったのだと思う
- 講座も分かりやすかったし、日常開催している講座に比べて、内容も深く、体操も組み込まれており、支援側としても内容面でとても満足している

新規参加者の獲得ができた

- 普段のサロン活動への参加者以外の参加が得られた。4名ほど新しい参加者がおり、明治安田生命の講座を通じて、新しい層へのアプローチができたと評価できる
- 事前配布したチラシについても2～3件ほど問い合わせがあり、効果があったと思われる

参考

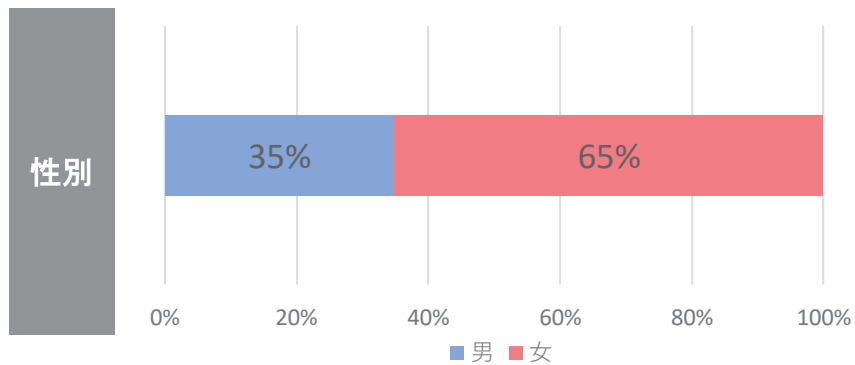
- 講座参加者のアンケート回答内容
- 明治安田生命による地域社会貢献への取組み

講座参加者のアンケート回答内容

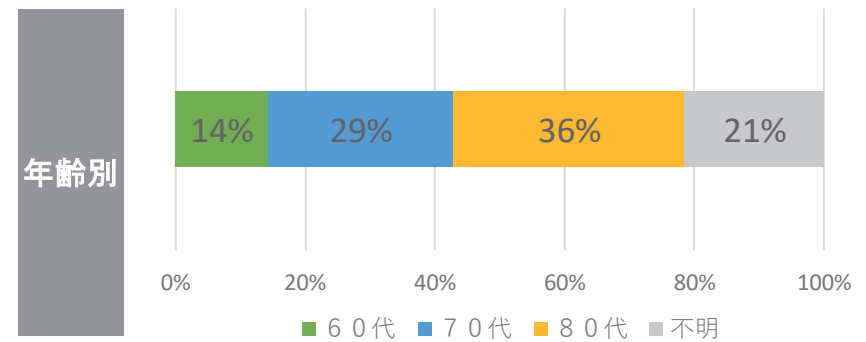
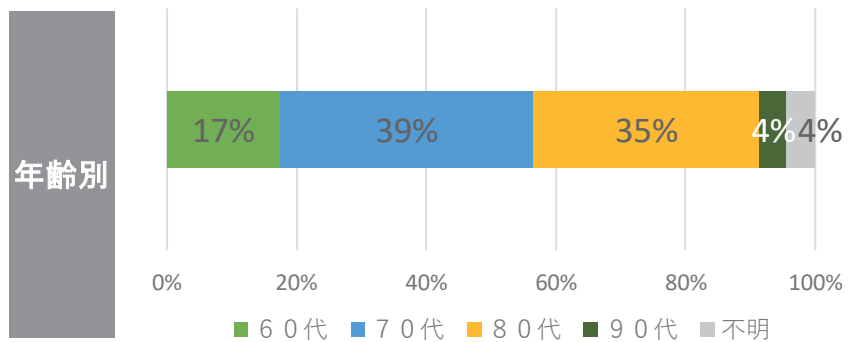
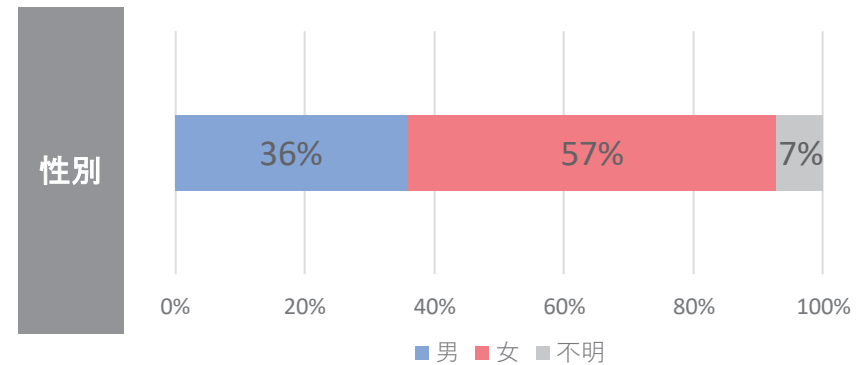
アンケート回答者属性

- 参加者属性ではいずれの公民館でも女性がやや多く、70代・80代の参加が中心

稲生公民館 参加者



【参考】立石公民館 参加者



有効回答数：30名、回収率：81.0% (30名/37名)

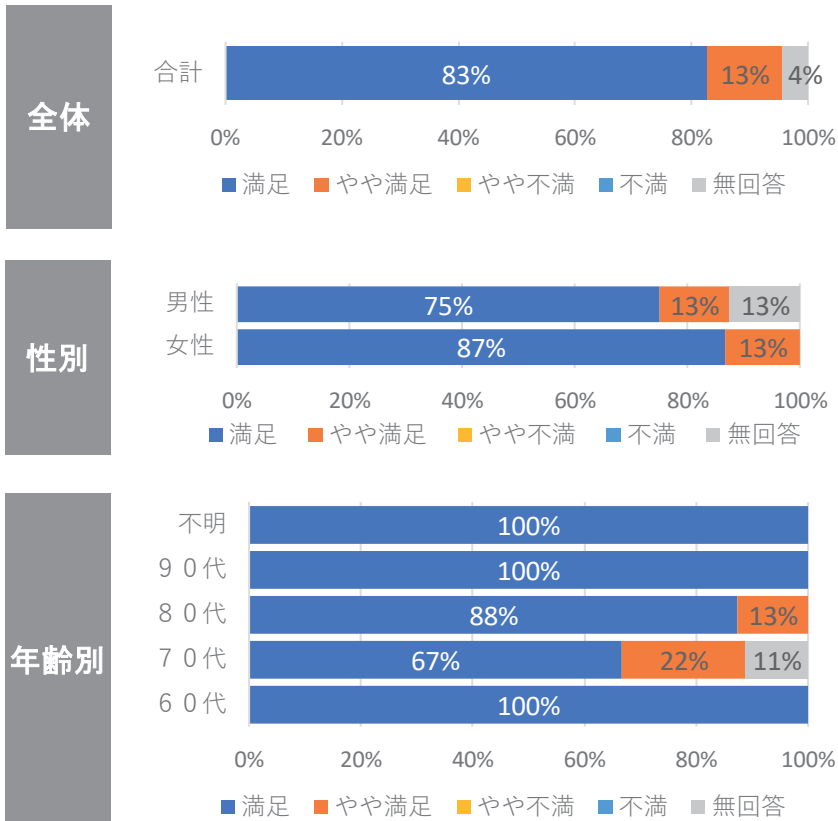
有効回答数：15名、回収率：78.9% (15名/19名)

講座参加者のアンケート回答内容

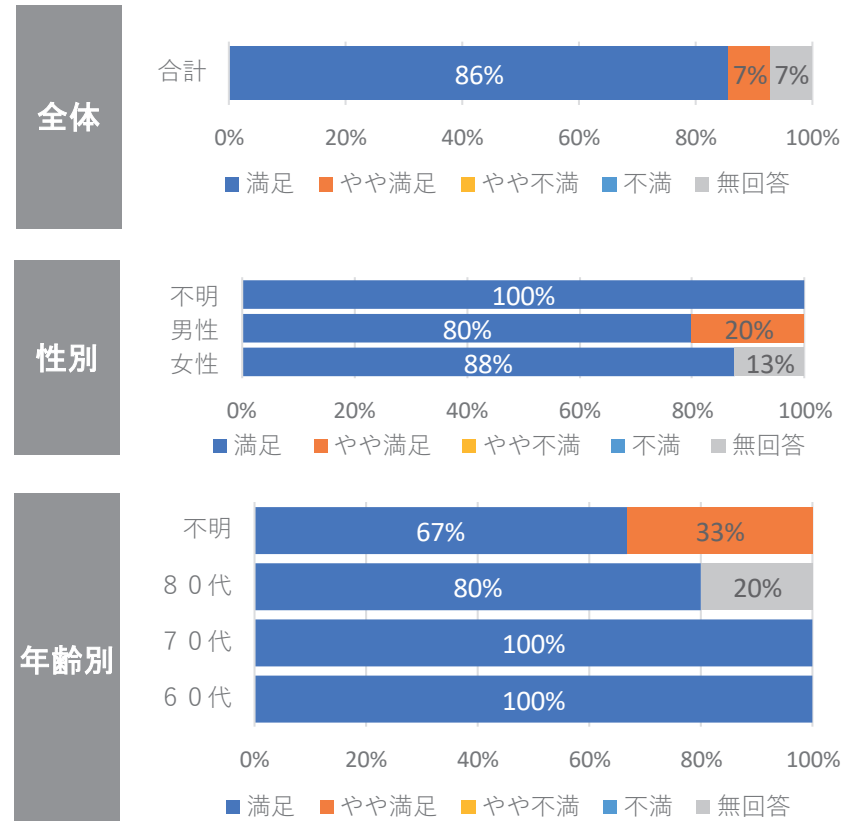
Q1：講座は楽しく受講できましたか？

- 無回答を除くと「満足」および「やや満足」の評価のみとなっており、講座への評価は高い

稲生公民館 参加者



【参考】立石公民館 参加者

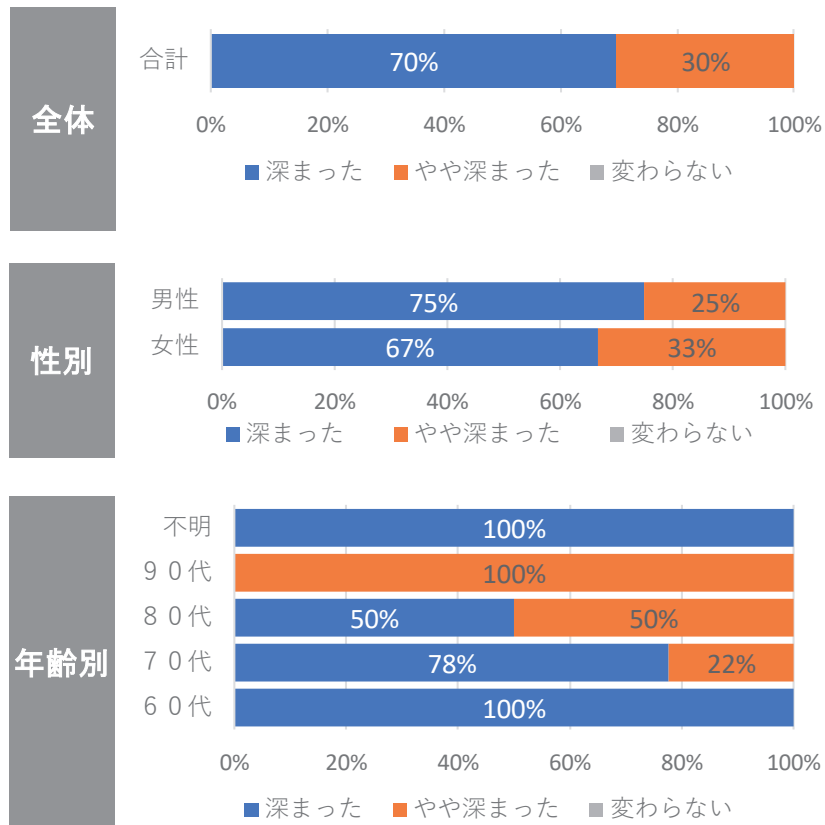


講座参加者のアンケート回答内容

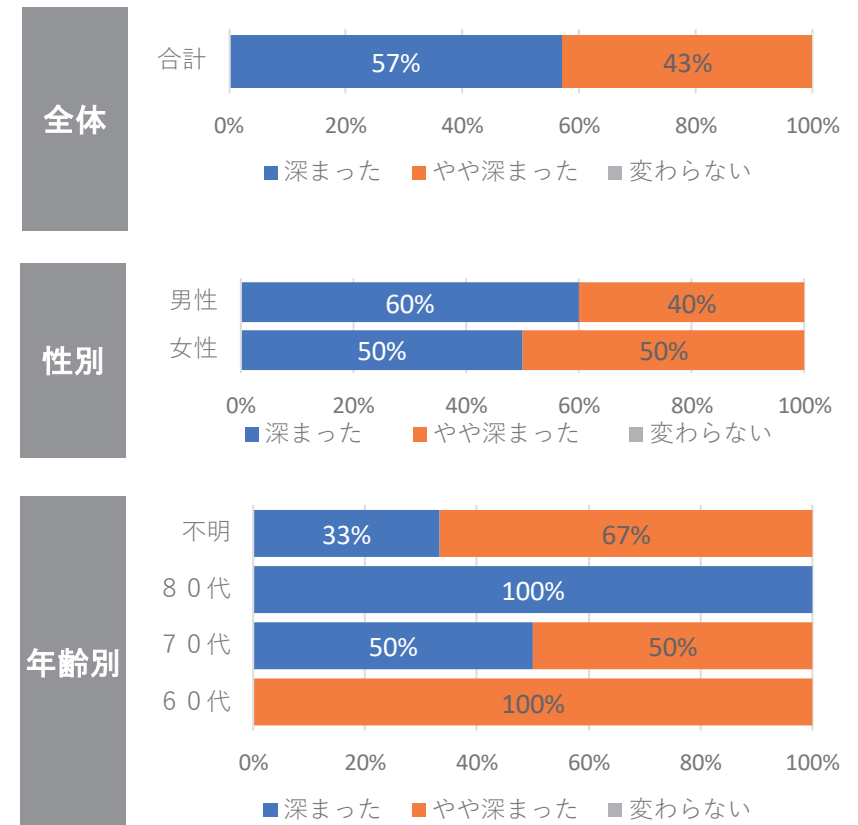
Q2：認知症・認知症対策への理解が深まりましたか？

- いずれの回でも、「深まった」および「やや深まった」の評価のみで、講座テーマであった認知症への理解が深まったと評価

稲生公民館 参加者



【参考】立石公民館 参加者

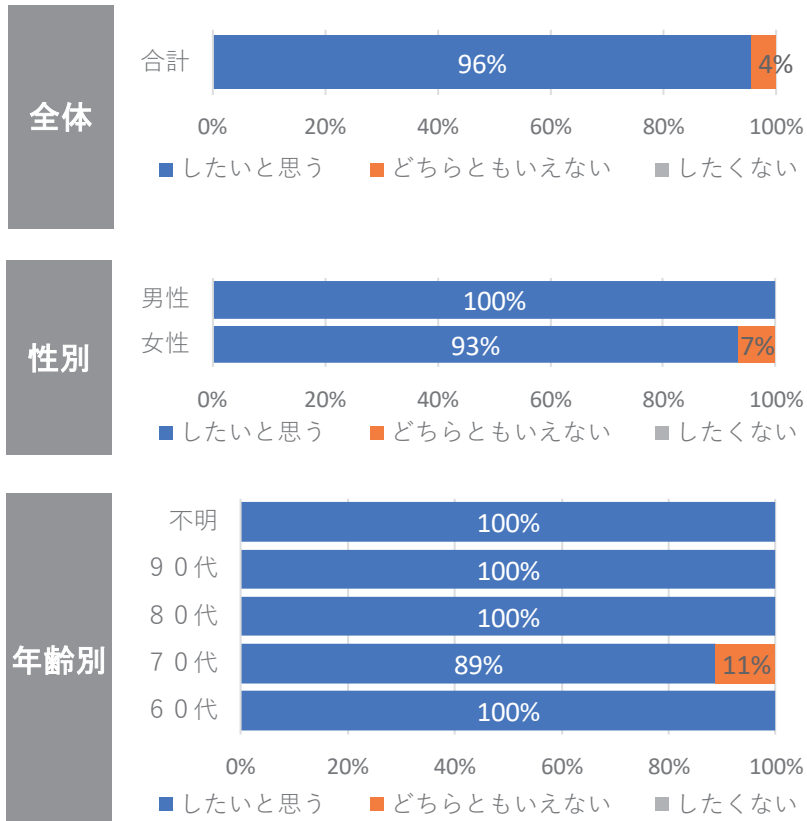


講座参加者のアンケート回答内容

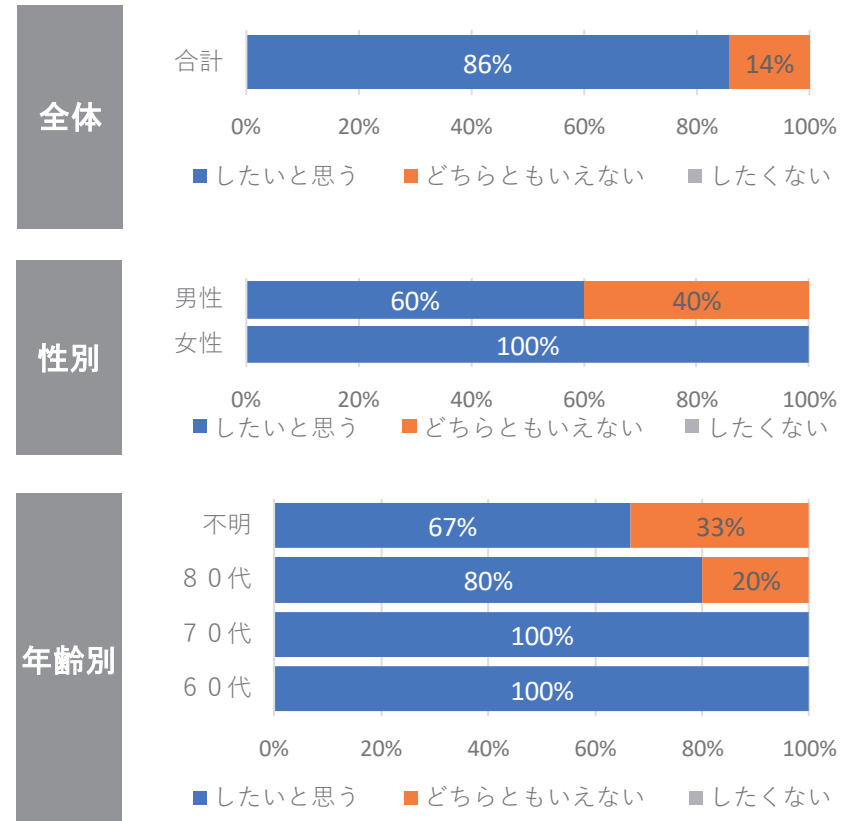
Q3：認知症対策のための行動を明日からしたいと思いますか？

- いずれの回でも、「したいと思う」の評価が8割以上であり、行動変容のための情報提供ができたと評価

稲生公民館 参加者



【参考】立石公民館 参加者

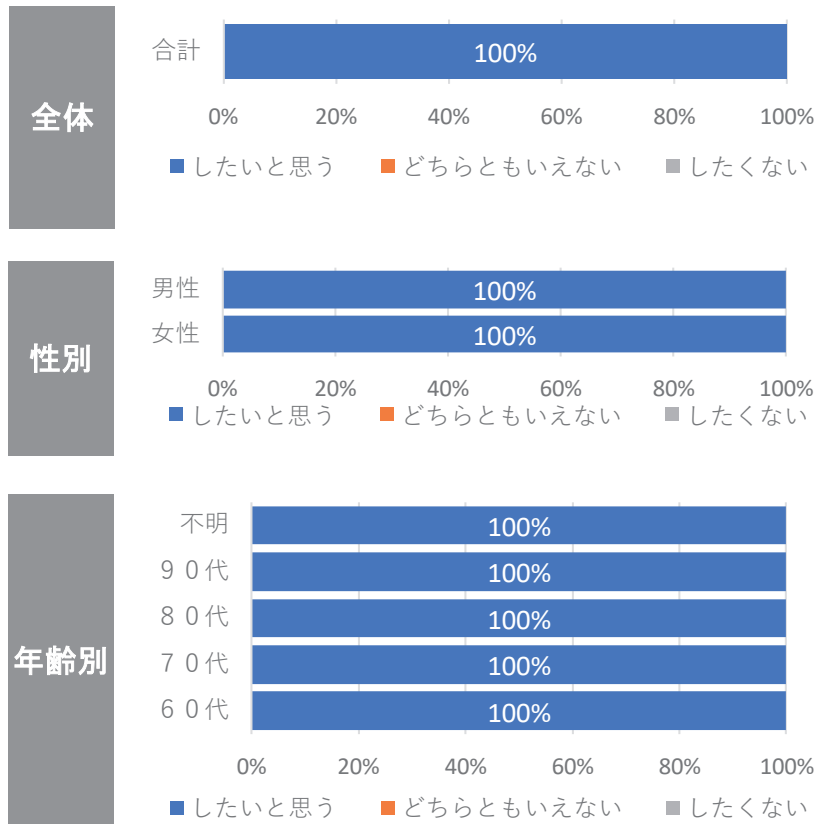


講座参加者のアンケート回答内容

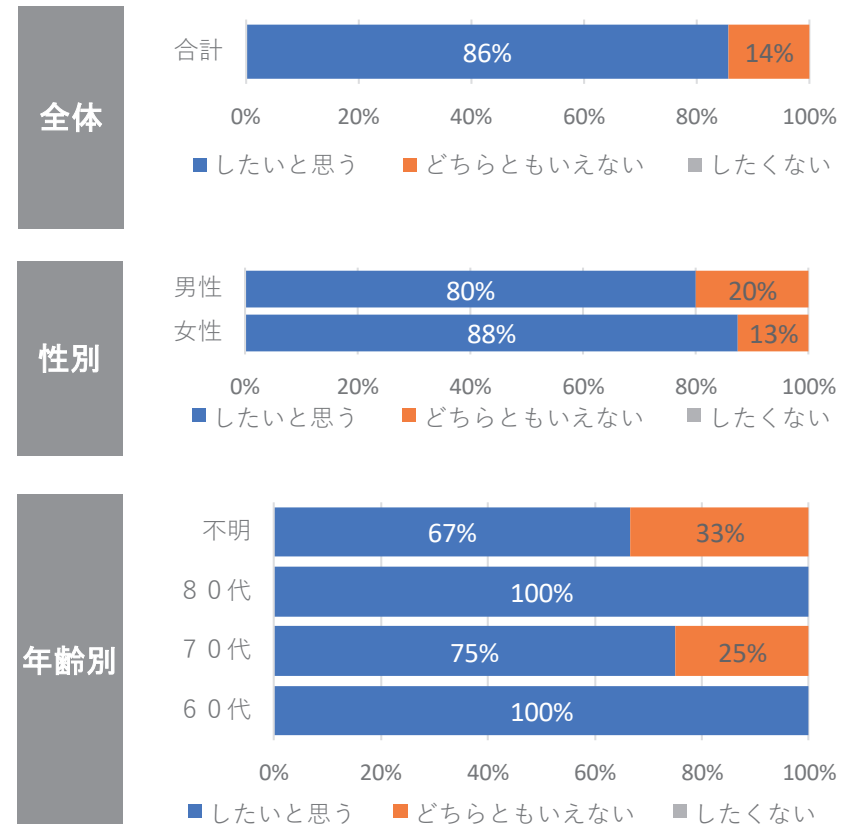
Q4：公民館のイベントにまた参加したいと思いますか？

- いずれの回でも、「したいと思う」の評価が8割以上であり、本講座が公民館活動に貢献できたと評価

稲生公民館 参加者



【参考】立石公民館 参加者

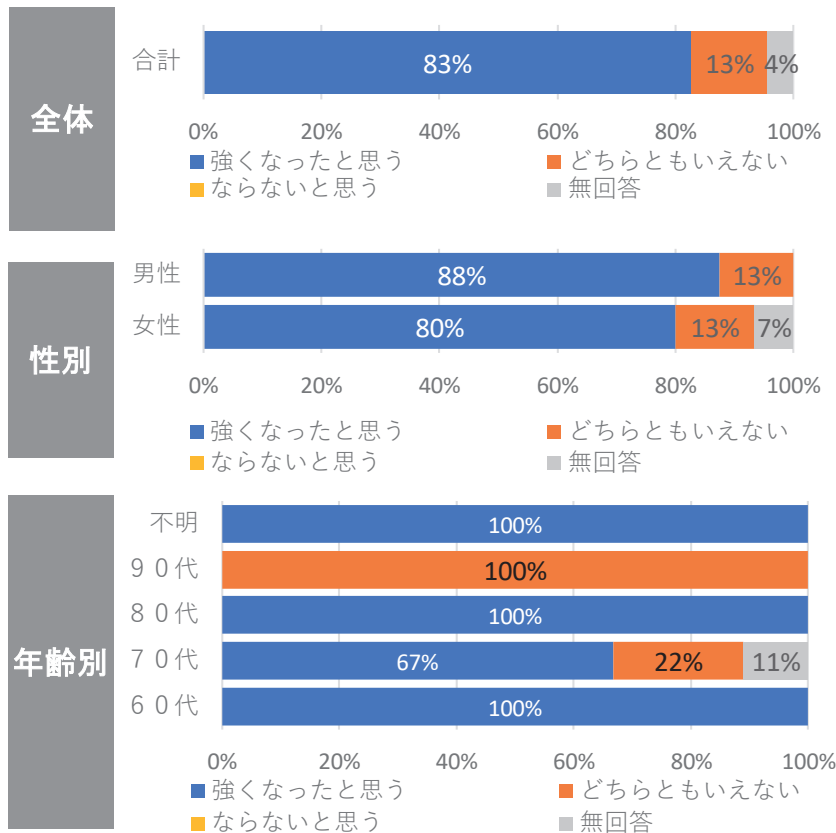


講座参加者のアンケート回答内容

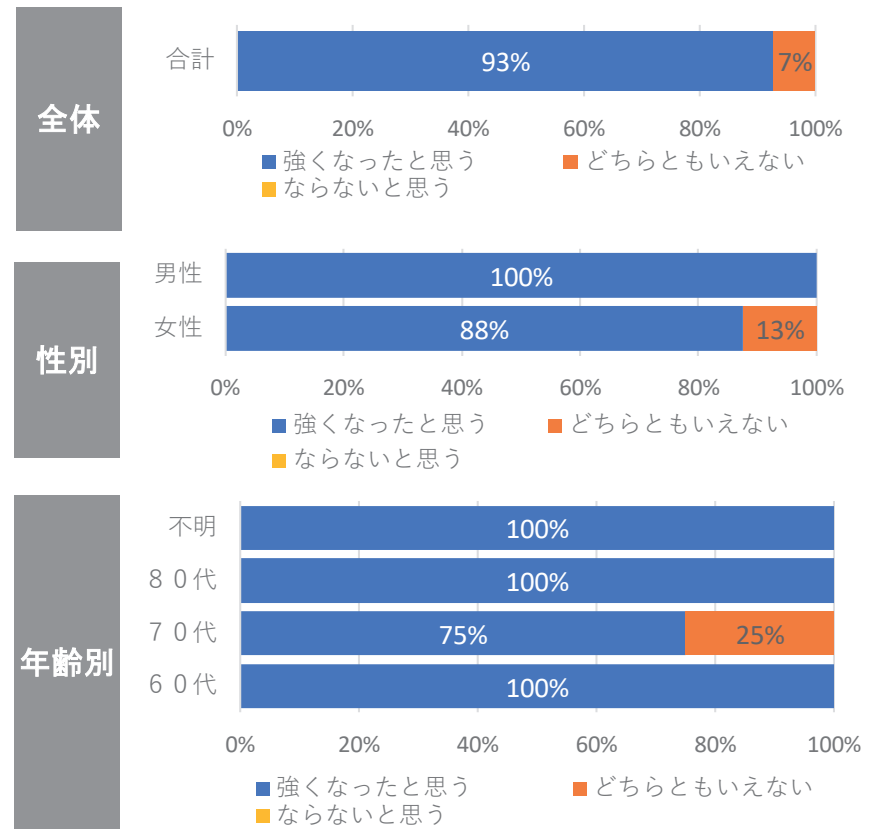
Q5：本セミナーによって参加者同士のつながりが強くなりましたか？

- いずれの回でも、「強くなったと思う」の評価が8割以上であり、地域社会の関係づくりへの貢献に寄与できたと評価

稲生公民館 参加者



【参考】立石公民館 参加者

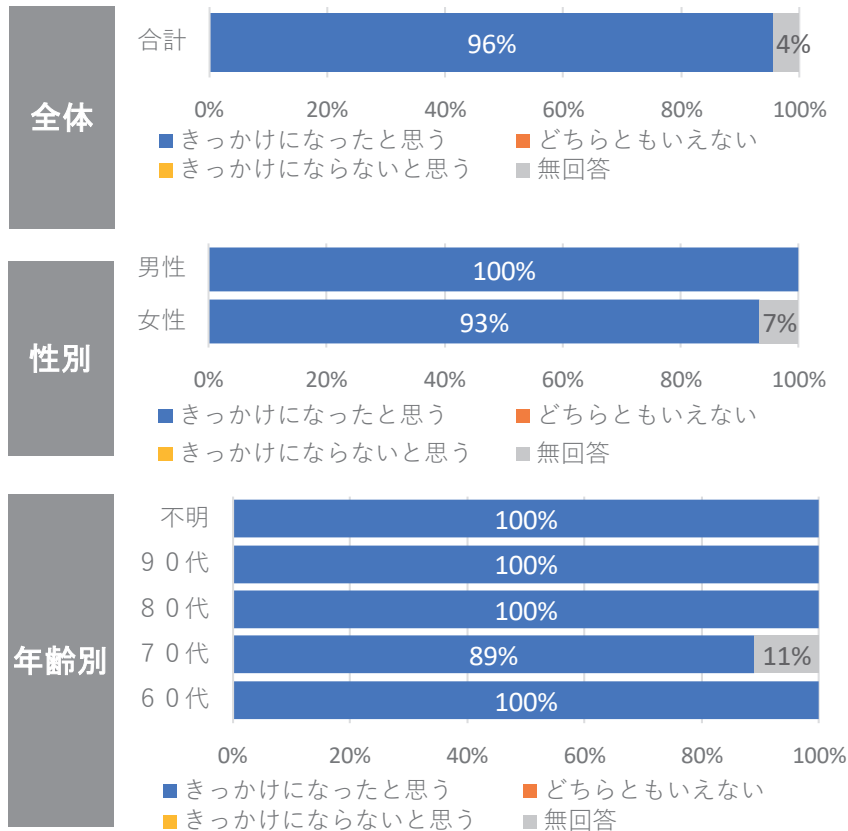


講座参加者のアンケート回答内容

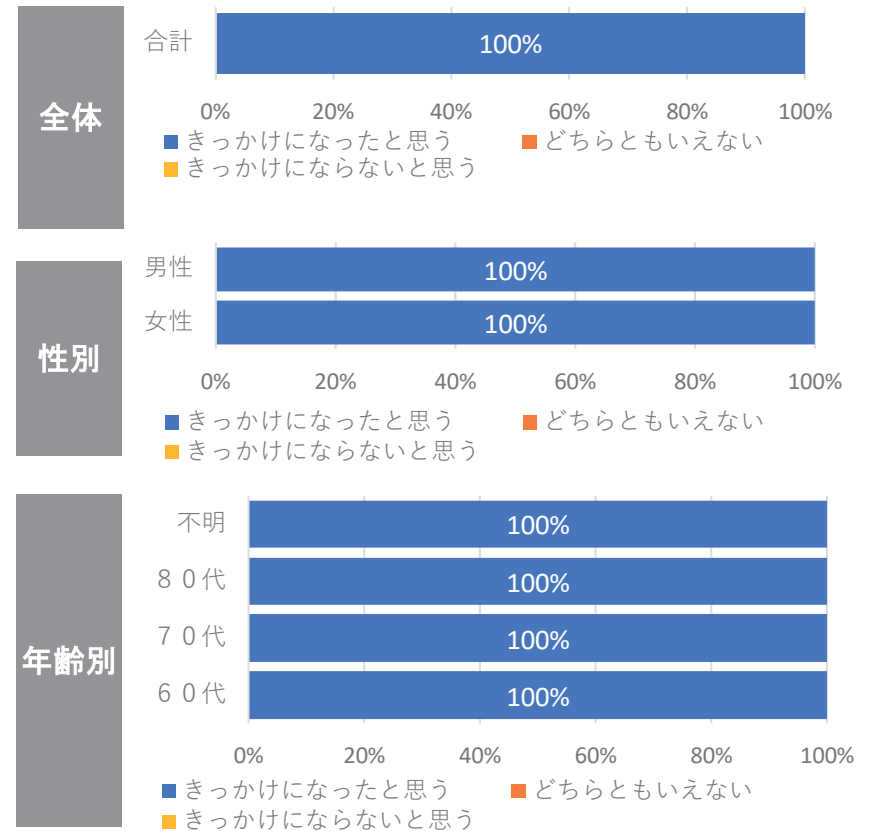
Q6：本セミナーが公民館の活動に興味をもつきっかけになりましたか？

- 無回答を除くと、いずれの回でも、「きっかけになったと思う」の回答が100%となっており、本講座を通じて、公民館利用者を増やし、地域社会における公民館の役割・機能の強化に寄与することができたと評価

稲生公民館 参加者



【参考】立石公民館 参加者



講座参加者のアンケート回答内容

Q7：講座内容についてのご要望をお聞かせください

- 自由記述回答では、講座内容を高く評価する声が多く、公民館関係者からも高く評価いただけた

稲生公民館 参加者

- 非日常的ですごく良かったです。日常にしていきたいです
- こんな講座をしてくださるので楽しいです
- こんな企画を続けてほしい

【参考】立石公民館 参加者

- 使わない頭を目いっぱい使った気持ちです
- 良かった
- 大変参考になりました